

合同教育研究会議（12月11日開催）議事概要

1 開催日時

令和元年12月11日（水）13:00～14:13

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼企画本部長、堀江副学長兼事務局長、高橋教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、村田研究・地域連携本部長、伊東国際教育研究部長、武田看護学部長、桐田社会福祉学部長、猪股ソフトウェア情報学部長、吉野総合政策学部長、千葉盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）

（事務局）葛尾事務局次長兼総務室長、岡部教育支援室長、関屋高等教育室長、鎌田学生支援室長、佐藤研究・地域連携室長、藤村企画室長、長崎宮古事務局長、金戸主幹、和山主事

4 会議の概要

議事録確認

前回会議11月13日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

審議事項

なし

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

(1) 地域志向科目「いわて創造学習Ⅰ・Ⅱ」報告会の開催について（資料No.1）

石堂高等教育推進センター長から資料に基づき、12月12日（木）に開催する地域志向科目「いわて創造学習Ⅰ・Ⅱ」報告会について報告があり、教職員の出席について要請があった。

委員から、科目の履修者数をどのように評価しているか質疑があり、これに対し、目標としていた履修者より少ないと認識しているとの回答があった。

(2) 令和元年度国際交流推進委員会の取組状況について（中間報告）（資料No.2）

高橋本部長から資料に基づき、令和元年度国際交流推進委員会の取組状況について中間報告があった。

- (3) 令和元年度岩手県立大学就職内定状況（11月末現在）について（資料No.3）
似鳥本部長から資料に基づき、11月末時点の就職内定状況について報告があった。
- (4) 令和元年度後期授業料免除等の審査結果について（資料No.4）
似鳥本部長から資料に基づき、令和元年度後期授業料免除等の審査結果について報告があった。
- (5) 台風19号の被災学生に対する授業料免除について（資料No.5）
似鳥本部長から資料に基づき、台風19号によって被害を受けた学生に対する授業料免除を実施することについて報告があった。
委員から、来年度から始まる高等教育の修学支援制度の家計基準と、本学の定める家計基準について整理を進めてほしいとの意見があった。
- (6) 令和元年度学業奨励金奨学生の採用状況について（資料No.6）
似鳥本部長から資料に基づき、令和元年度学業奨励金奨学生の採用状況について報告があった。
- (7) ダブルダッチサークル「刹那」の国際大会優勝について（資料No.7）
似鳥本部長から資料に基づき、ダブルダッチサークル「刹那」が国際大会において優勝したことについて報告があった。
- (8) 令和2年度科学研究費助成事業の応募状況について（資料No.8）
村田本部長から資料に基づき、令和2年度科学研究費助成事業の応募状況について報告があった。
委員から、応募をしていない教員に対する働き掛けも必要ではないかとの意見があった。
- (9) 令和元年度「卒業年次生アンケート」の実施等について（資料No.9）
狩野本部長から資料に基づき、令和元年度「卒業年次生アンケート」を実施することについて報告があり、アンケートの配布や回収の協力について依頼があった。
- (10) 学部長等の選考手続について（資料No.10）
石堂副学長から資料に基づき、令和2年度から任命する学部長等の選考を進めるための手続について報告があった。
- (11) 同一労働・同一賃金への対応について（資料No.11）
葛尾事務局次長から資料に基づき、同一労働・同一賃金への本学の対応方針について報告があった。
委員から、11月27日（水）に開催された大学運営会議の時点では、本件が業務に及ぼす影響について十分整理されていない状況であったと理解しているが、整理されたかとの質疑があり、これに対し、もう少し時間をかけて整理したいとの回答があった。
また委員から、東北地区の公立大学の対応について「約半数が設置団体に準じて対応する予定」とあるが、ほかの半数の大学はどのように対応するのか、県の対応は「週30時間勤務の会計年度任用職員（パートタイムの職員）として任用」とあるが、

週 30 時間の根拠は何か、常勤職員の負担増への対応はあるかとの質疑があり、これに対し、ほかの半数の大学は未定であること、週 30 時間の根拠は未確認であること、常勤職員の負担増への対応は結論が出ていないとの回答があった。

(12) 第三期中期計画期間における収支ギャップへの対応状況について（資料No.12）

葛尾事務局次長から資料に基づき、第三期中期計画期間における収支ギャップを解消する手段としての取組の 11 月までの対応状況について報告があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和 2 年度推薦入試等の選抜結果について（資料No.13）
- (2) 令和元年度高大連携ウインターセッションについて（資料No.14）
- (3) 令和元年度学位記授与式実施概要について（資料No.15）
- (4) 令和 2 年度サバティカル研修者選考委員会（再募集）結果について（資料No.16）
- (5) 令和元年度地域懇談会の開催結果について（資料No.17）
- (6) 岩手県立大学大学祭 2019 の開催結果について（資料No.18）

その他

似鳥本部長から、11 月の教育研究会議において委員から意見のあった、学生の懲戒処分に係る情報共有について、他大学の状況も踏まえて検討した結果、慎重に取り扱う必要があることから、今後もこれまでと同様に学内掲示による公示のみとし、処分の内容によっては、他学部の参考のために情報共有することとしたいことについて報告があった。